



回 30、40代の総会参加者が1.71倍に！

「校友会支部の組織を活性化するためには若手、中堅層への参加呼び掛けを強化しなければならない。せっかくの立派な組織が老齢化してしまう」と、佐久間支部長が危機感を訴えられて、一昨年組織活性化3カ年計画をスタートさせました。①40歳代の各年次10人以上の参加②総会の参加者500人というのが、われわれ組織活性化プロジェクトチームに与えられた課題でした。6月19日の第46回総会は、その2年目の結果です。

今総会・高田高校祭の校友参加者は535人。過去最高の参加者となった去年の45回記念総会と40回記念総会に次いで3番目の参加者数となりました。通常の総会で500人を超えたのは初めての事です。二つの課題の内②の500人ラインについては2年連続でクリアしたことになります。

活性化計画2年を経て、30、40代の参加者が101人と、1.71倍になりました。40歳代は54人から77人と1.43倍に増えました。30歳代は5人から24人と一挙に5倍となりました。40歳代の各学年で、課題の10人ラインを達成した年次は、31回生、32回生と39回生です。その一方で40歳代の中で、35、36、38回生はマイナスとなっています。

39回生は、一昨年まで参加者がゼロだったのが、一挙に22人と、パワーを見せつけました。まだ課題の10人ラインに達成して

ない年次はゴールの来年の総会までに後一踏ん張り、互いに呼びかけの強化をお願いします。

佐久間支部長と若手・中堅世代(49歳以下)との懇談は、29回生から始まり、48回生(32歳)まで、すでに19の年次を終えました。そこで校友会東京支部の存在や活動を知り、先輩・後輩の交友の輪が広がることの楽しさを理解してもらったことが、総会への積極参加につながったのだと思います。佐久間支部長と若手・中堅の年次別懇談は、今年度も更に若手へと引き続き行う予定です。

ちなみに、今年は大学生・大学院生が9人も参加しています。卒業生への勧誘も強めていきたいと思っています。

回 同期・校友のネットワークを張ろう！

参加者を増やしている年次の人に聞くと、最も有効なのはメールでの“同期のネットワーク作り”のようです。校友会でも2年前からメールマガジンを発行、校友会全体のネットワーク作りを行っています。未登録の人はぜひ加入を！ 毎月先輩・後輩情報、母校・ふるさと情報が届きます。魅力ある校友会活動とするために総会(高田高校祭)、機関誌(本誌)、ホームページの他、新たに校友会サロン(仮称)も立ち上げました。魅力ある校友会への努力にもご注目ください。